

平成 25 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー  
 代 表 者 名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者  
 吉 田 博 昭  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 : 4358 )  
 問 い 合 わ せ 先 常務取締役 経営戦略本部長 上 窪 弘 晃  
 電 話 番 号 03-5434-1586

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 9 月 13 日に公表いたしました平成 25 年 7 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 25 年 7 月期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	25,000	1,600	1,400	700	円 銭 11.72
今回修正 (B)	25,000	1,400	1,270	730	12.22
増減額 (B-A)	—	△200	△130	30	—
増 減 率	—	△12.5%	△9.3%	4.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 7 月期)	24,153	1,448	1,093	1,120	18.75

#### 2. 修正の理由

当社グループが事業を展開している TV-CM 制作市場は平成 22 年以降堅調に拡大しており、インターネット広告費及びインターネット広告制作費も年々増加するなど、当社グループのビジネス機会は拡大しております。

このような市況環境の下、TV-CM 事業においては受注状況が好調に推移しており、マーケティング・コミュニケーション事業においても WEB をはじめとした多様な媒体の案件を獲得するなど、当社グループ全体の売上高は堅調に推移しております。また、大手広告代理店との取引は順調に伸長しており、加えて、広告主との直接取引による TV-CM や WEB、グラフィック、セールスプロモーションなどの案件の受注についても拡大のテンポは加速しております。

しかしながら、主に TV-CM 事業において労務環境の改善及び定着率向上を目的として十分な人員確保に努めたことにより人件費の先行投資が発生していること、及びマーケティング・コミュニケーション事業内の 1 つのブランド (テオリア事業部) において大幅な予算未達となったことにより、利益面については従来の想定を下回って推移しております。但し、人件費については短期で回収が可能な先行投資であり、また、テオリア事業部については、収益性の改善は困難と判断したことに加え、事業の方向性の違いが明確になったことにより、本年 5 月 31 日に事業譲渡を実施したため、こうしたマイナス要因が今後の当社グループ業績に影響を及ぼす可能性はなくなりました。

以上の状況を踏まえ、通期業績予想について精査した結果、当社グループの平成 25 年 7 月期連結業績は、

売上高は前回予想と同様の 25,000 百万円（前年同期比 3.5%増）、営業利益は前回予想から 200 百万円減の 1,400 百万円（前年同期比 3.3%減）、経常利益は前回予想から 130 百万円減の 1,270 百万円（前年同期比 16.2%増）、当期純利益は前回予想から 30 百万円増の 730 百万円（前年同期比 34.8%減）となる見込みであります。

以上